

(株)アスカデンタルサプライ 10周年記念 特別講演

内科医が語る歯科医療面接

～患者理解とリコール率アップに繋がるラポール構築法～



講師：にしだわたる糖尿病内科 院長
西田 亙 先生

略 歴

1988年 愛媛大学医学部卒業、同大学医学部第二内科 入局

1994年 愛媛大学医学部 第二内科 助手

1997年 大阪大学大学院 医学系研究科 神経生化学 助手

2002年 愛媛大学医学部附属病院 臨床検査医学(糖尿病内科) 助手

2008年 愛媛大学大学院医学系研究科

分子遺伝制御内科学(糖尿病内科) 講師

2012年 にしだわたる糖尿病内科 開院

日本糖尿病学会専門医、医学博士

日 時：2016年7月10日(日) 10時00分～14時40分

会 場：奈良ロイヤルホテル 2F ロイヤルホール (奈良市法華寺町254-1)

定 員：100名

受 講 料：歯科医師 8,000円、歯科医師除くスタッフ 5,000円 (昼食代・消費税含)

お申込み・お問い合わせ



株式会社 アスカデンタルサプライ

ASUKA DENTAL SUPPLY

Tel 0742-61-6480 Fax 0742-61-6481

参加申込書 《お申し込み先FAX: 0742-61-6481》 下記申込欄にご記入の上、FAXでお申し込みください。

Dr・DT・DH・DA

ふりがな
お名前

Dr・DT・DH・DA

ふりがな
お名前

Dr・DT・DH・DA

ふりがな
お名前

ふりがな
お勤め先

〒

ご住所

電話番号

Fax番号

キャンセルの場合は講習日の1週間前までに必ずお申し出ください。

内科医が語る歯科医療面接

～患者理解とリコール率アップにつながるラポール構築技法～

に시다わたる糖尿病内科 院長 西田 亙

医療面接は2005年頃から医学部の講義に採用された、日本では比較的新しい学問です。このため、40代以上の医師は医療面接の知識がありません。

医療面接が目指すところは、患者との信頼関係(ラポール)の構築にあり、医学的情報の抽出は副次的なものと捉えます。具体的な内容としては、会話時の目線の高さ、声の調子、言葉遣い、身だしなみに始まり、質問の進め方、共感の育み、医学情報聴取のポイント等、多岐にわたります。

私は愛媛大学医学部在職中、医療面接の教育責任者を担当していましたが、医学生達が最も苦手とするものが「共感」でした。共感とは、相手の感情の裏側に潜む理由を見つけ出した上で、喜びも悲しみも分かち合い、プロフェッショナルとしての知識と智慧で支えていくという、臨床家に求められる最高度の技量と言えます。

ラポール構築とは相互理解であり、一方的なものではありません。互いが信頼し合って初めて生まれるもの、それをいかに育てていくかは、これまで個人の資質と経験に委ねられていましたが、医療面接という学問は、誰でも修練を重ねれば磨き上げることが可能であると教えます。

実際、私が開業して最も役に立っているものが、このラポール構築です。医院においても、歯科医院においても、初診で訪れた患者さんに再度受診してもらうことは、経営的な最重要課題でしょう。歯科の世界では、リコール率アップをテーマに様々なセミナーが開催されているようですが、内科医の視点で歯科外来を観察していると、“医療面接の知識があれば患者も歯科スタッフも、もっと幸せになれるだろうに”という場面によく出会います。

このセミナーでは、医療面接が初めての方々のために、基礎となる勘所を説明した上で、実際にロールプレイングを体験して頂きます。問診者、患者、評価者の三役を順番に担当していく間に、これまで経験したことがない連帯感が生まれるはずです。ロールプレイングの終わりに際して、互いを讃え合う拍手が自然に巻き起これば、本セミナーは成功と言えるでしょう。